

問1 11世紀半ば、社会の乱れとともに仏教の教えが衰える時代の到来を恐れる「末法思想」が広まり、阿弥陀如来を信じて死後に極楽浄土へ生まれ変われることを願う信仰が盛んになりました。この信仰に基づき、当時の摂政・関白の権勢を背景として京都の宇治に建立された建築物として正しいものはどれですか。 (2018年 岡山県公立入試 類似)

1. 足利義満が金閣を建立したことに代表される、武家文化と公家文化が融合した北山文化の建築
2. 親鸞が念仏を唱えることで救われると説き、各地に広まった浄土真宗の本山寺院
3. 極楽浄土の宮殿を模して造られ、阿弥陀如来像が安置された平等院鳳凰堂
4. 聖武天皇が国家の平安を祈って全国に建立を命じた、壮大な伽藍をもつ国分寺

問2 平安時代末期の歴史についてまとめられた記述において、保元の乱や平治の乱が「武家社会の先駆け」とされるのはなぜですか。その背景と理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 奈良県公立入試 類似)

1. 地方の反乱を鎮圧した武士たちが、その功績によって自分たちの土地の所有権を天皇に認めさせたため
2. 元寇（モンゴルの襲来）という国家の危機に対し、朝廷に代わって武士が防衛を担ったため
3. 朝廷の権力争いに武士が動員されたことで、武力こそが政治的な決定権を持つことが明らかになったため
4. 天皇中心の政治を支えるために、武士が軍事警察組織である検非違使を独占したため

問3 国風文化が栄えた平安時代中期、藤原氏などの貴族が居住していた建築様式について説明した文として適切なものはどれですか。この様式は、池のある広い庭園を囲むように建物が配置され、風通しを良くする工夫がなされているのが特徴です。 (2021年 岡山県公立入試 類似)

1. 寝殿造
2. 武家造
3. 高床建築
4. 書院造

問4 平安時代、仏教の教えが衰えるという末法思想が広まる中で、死後に極楽浄土へ生まれ変われることを願う信仰が盛んになりました。この信仰に基づき、宇治に阿弥陀如来を本尊とする平等院鳳凰堂を建立した人物として正しいものを選んでください。 (2024年 熊本県公立入試 類似)

1. 藤原頼通
2. 空海
3. 藤原道長
4. 聖武天皇

問5 平安時代初期、遣唐使として唐へ渡って仏教を学び、帰国後に比叡山に延暦寺を建立して天台宗を広めた僧侶は誰ですか。 (2024年 山形県公立入試 類似)

1. 空海
2. 行基
3. 最澄
4. 鑑真

問6 平安時代、遣唐使の廃止などを背景に日本独自の「国風文化」が発達しましたが、この時期に貴族が住んでいた、中心となる建物と廊下、池のある庭園などが特徴的な建築様式を何といいますか。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)

1. 寝殿造
2. 武家造
3. 書院造
4. 合掌造

問7 平安時代に発達した「かな文字」が、当時の文化に与えた影響についての説明として最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。 (2023年 群馬県公立入試 類似)

1. 漢字を書き崩すことで日本語の発音が表現しやすくなり、『源氏物語』などの優れた文学作品が生まれた。
2. 中国の宋から伝わった漢字の読み方を正確に記録するために、公文書のすべてで「かな」が使われるようになった。
3. 仏教の教えを庶民に分かりやすく伝えるため、サンスクリット語の文字を簡略化して作られた。
4. 万葉集などの和歌を、意味を重視した漢字一文字のみで記録する手法として全国に広まった。

問8 菅原道真が遣唐使の停止を建議したことによって、その後の平安貴族の生活や文化にどのような影響を与えましたか。最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 北海道公立入試 類似)

1. 中国の律令制度をそのまま導入することで、天皇を中心とする中央集権的な政治体制が完成した。
2. 日本独自の文字である「かな文字」の使用が禁止され、すべての公文書を漢文で記す習慣が定着した。
3. 唐の先進的な土木技術を導入したことにより、全国で大規模な開墾が進み、班田収授の法が厳格に運用された。
4. 大陸の文化を日本の風土や好みに合わせて消化・吸収した、日本独自の国風文化が発達した。

問9 藤原道長が活躍した平安時代中期には、社会不安を背景に「念仏を唱えて阿弥陀如来にすがり、死後に極楽浄土へ生まれ変わる」という考え方が貴族から民衆にまで広まりました。この信仰を何といいますか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)

1. 本地垂迹
2. 浄土信仰
3. 禅宗
4. 法華信仰

問10 平安時代初期の仏教は、それまでの奈良時代の仏教と異なり、山の中に寺院を建てて修行に励む傾向が見られました。この時期に最澄が比叡山を拠点として広めた新しい仏教の教えは、後の鎌倉時代に登場する多くの開祖たちにも大きな影響を与えましたが、その宗派名を答えなさい。 (2024年 山形県公立入試 類似)

1. 真言宗
2. 浄土宗
3. 天台宗
4. 禅宗

問11 平安時代初期に最澄や空海によってもたらされた新しい仏教は、それまでの奈良時代の仏教と異なり、政治の場から離れて山の中で厳しい修行を行うことを重視しました。最澄が伝えた教えとその活動に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)

1. 朝廷から布教を禁じられながらも、溜池の造成や橋の架け替えなどの社会事業を通じて民衆に教えを説いた。
2. 唐から日本へ正しい戒律を伝えるために、何度も遭難を繰り返しながら来日し、唐招提寺を建立した。
3. 比叡山に延暦寺を建立して天台宗を広め、国家の平安を祈るとともに、多くの優れた僧を育成した。
4. 高野山に金剛峯寺を建立して真言宗を広め、加持祈祷などの密教の儀式を体系化した。

問12 平清盛は、武士として初めて太政大臣に就任しただけでなく、ある政治的な手法を用いて権力を強固にしました。清盛は娘の徳子を高倉天皇の妃（きさき）とし、その間に生まれた子を安德天皇として即位させました。このように、天皇の母方の親戚として政治に影響を及ぼす立場を何と呼びますか。 (2020年 奈良県公立入試 類似)

1. 院近臣
2. 関白
3. 外戚
4. 執権

問13 11世紀前半、藤原氏が摂関政治によって最も栄えた時期に、藤原頼通によって建立された建築物を選びなさい。この建築物は、当時の貴族が願った極楽浄土の姿を再現しようとしたもので、池のほとりに左右対称の翼廊を持つ壮麗な姿が特徴です。 (2017年 三重県公立入試 類似)

1. 銀閣（慈照寺）
2. 平等院鳳凰堂
3. 金閣（鹿苑寺）
4. 東大寺大仏殿

問14 平安時代末期、奥州藤原氏が三代にわたって栄華を極めた拠点であり、極楽浄土の様子を表現したとされる中尊寺金色堂が所在する現在の都道府県名として正しいものを選びなさい。 (2022年 茨城県公立入試 類似)

1. 新潟県
2. 三重県
3. 岩手県
4. 島根県

答え合わせ・解説

問1	答え 3 極楽浄土の宮殿を模して造られ、阿弥陀如来像が安置された平等院鳳凰堂	平安時代後期、藤原氏の氏長者であった藤原頼通によって宇治に建立されたのが平等院鳳凰堂です。当時流行した「浄土信仰（浄土教）」を背景に、現世に極楽浄土を再現しようとする意図がありました。国分寺は奈良時代、親鸞は鎌倉時代、金閣は室町時代に関連する事象です。
問2	答え 3 朝廷の権力争いに武士が動員されたことで、武力こそが政治的な決定権を持つことが明らかに became ため	保元の乱では崇徳上皇と後白河天皇の対立、平治の乱では近臣同士の対立が原因でしたが、これらすべての争いが最終的に武士の武力によって決着しました。それまで儀式や伝統を重視していた貴族たちも武士の力を頼らざるを得なくなり、政治の主役が貴族から実力を持つ武士へと交代していく決定的な転換点となったためです。
問3	答え 1 寝殿造	日本の蒸し暑い夏を快適に過ごすため、壁が少なく開放的な造りになっているのが特徴です。中心となる「寝殿」から左右に廊下が伸び、その先に「対の屋」が配置されるなど、貴族の華やかな生活空間を形成していました。室町時代に広まった書院造と区別することが重要です。
問4	答え 1 藤原頼通	平安時代後期、貴族や民衆の間で阿弥陀如来にすがって極楽往生を願う浄土信仰が流行しました。摂政や関白として権勢を振るった藤原頼通は、父である道長の別荘を寺に改め、浄土信仰の象徴として平等院鳳凰堂を建立しました。聖武天皇は奈良時代の人物であり、空海は平安時代初期に真言宗を広めた人物です。
問5	答え 3 最澄	唐での厳しい修行を終えて帰国した後、現在の滋賀県と京都府の境に位置する比叡山を拠点として、新しい仏教である天台宗を確立しました。この延暦寺は、当時の都であった平安京の北東（鬼門）に位置し、国家を守護する重要な役割を担いました。
問6	答え 1 寝殿造	平安時代の中期、日本独自の風土や感覚に合わせた国風文化が栄えました。この時期、貴族の邸宅として用いられた建築様式は「寝殿造」と呼ばれます。池を中心とした庭園を囲むように、中心となる建物（寝殿）と、そこから伸びる廊下（渡殿）でつながれた開放的な構造が大きな特徴です。
問7	答え 1 漢字を書き崩すことで日本語の発音が表現しやすくなり、『源氏物語』などの優れた文学作品が生まれました。	遣唐使の廃止などをきっかけに、日本の風土や生活に合わせた国風文化が成立しました。かな文字の誕生によって、特に貴族の女性たちの中で、自分の心情を豊かに表現した物語や随筆などの文学作品が執筆されるようになりました。
問8	答え 4 大陸の文化を日本の風土や好みに合わせて消化・吸収した、日本独自の国風文化が発達した。	遣唐使の停止により、大陸からの直接的な文化の流入が制限されました。これにより、それまでに取り入れた唐風の文化を、日本の気候や日本人の感性に合うように作り変える動きが強まりました。その結果、かな文字の使用や、寝殿造、大和絵、和歌の隆盛といった「国風文化」が花開くことになりました。
問9	答え 2 浄土信仰	「末法思想」の影響で、現世での救いをあきらめ来世での幸せを願うこの信仰が流行しました。藤原道長が建立した法成寺や、その子の頼通が建立した平等院鳳凰堂は、この信仰に基づいて「この世に現れた極楽浄土」を表現しようとしたものです。
問10	答え 3 天台宗	最澄が開いた天台宗の拠点である比叡山延暦寺は、後に「日本仏教の母」と呼ばれるほど多くの僧侶を輩出しました。法然や親鸞、日蓮といった鎌倉新仏教の開祖たちの多くも、もとはこの比叡山で修行を積んでおり、最澄がもたらした教えが日本の宗教史における重要な基盤となったことがわかります。
問11	答え 3 比叡山に延暦寺を建立して天台宗を広め、国家の平安を祈るとともに、多くの優れた僧を育成した。	平安時代初期の仏教は、奈良時代の僧侶が政治に深く関与しすぎた反省から、都から離れた山岳地帯に寺院を構える傾向がありました。最澄が比叡山に建てた延暦寺は、単なる修行の場としてだけでなく、当時の学問の最高府としての役割も果たし、日本仏教の発展に大きく寄与しました。なお、社会事業を行ったのは奈良時代の行基、戒律を伝えたのは唐の鑑真です。
問12	答え 3 外戚	平清盛は、それまでの摂関政治で藤原氏が行った手法を模倣し、皇室との婚姻関係を通じて権力を握りました。自身の娘を天皇の妃とし、その子供（孫）を天皇に即位させることで、天皇の母方の親戚である「外戚」の地位を確立しました。これにより、武力だけでなく政治制度の面からも実権を掌握しました。
問13	答え 2 平等院鳳凰堂	藤原道長とその子である頼通の時代は、摂関政治の最盛期にあたります。この時期には、仏教の末法思想の影響から極楽浄土へ行くことを願う浄土信仰が流行しました。頼通が宇治に建立したこの建築物は、阿弥陀如来を祀り、建物全体が大きな鳥が羽を広げたような左右対称の構造を持つ、国風文化を象徴する寺院建築です。
問14	答え 3 岩手県	中尊寺金色堂は、現在の岩手県平泉町に位置しています。当時の平泉は、京都に次ぐ日本第2の都市とも称されるほどの繁栄を誇りました。この地域は豊富な金の産地であったため、その経済力を背景に豪華な装飾が施された建物が建立されました。2011年には「平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—」として世界文化遺産に登録されています。